

# 優秀賞・U40 建築賞

1 新築の建物  
1-1 居住・生活空間系の建物



木下 © KEISHI ASAYAMA

設計担当者

**木下美佳**

(株)竹中工務店 大阪本店 設計部、大阪府建築士会

共同設計者

**高山淳二**

(株)竹中工務店、福岡県建築士会

共同住宅／福岡県福岡市

**警固竹友寮**



高山

構造 | 木造 (CLT 工法)

一部鉄筋コンクリート造

階数 | 地上5階

敷地面積 | 453.03㎡

建築面積 | 186.09㎡

延べ面積 | 919.69㎡

竣工年 | 令和5年



1

## 選評

福岡市の中心地に近く、中高層街区と低層街区の境目に存在する。周囲には高層のマンションが林立しているが、この敷地は第一種住居地域にあたるため5階建てで周囲から見るととても可愛い。煤けた街並みの中で木材の外壁は暖かい存在感を見せる。木材の壁と金属の縦格子、水平方向には薄いコンクリートのスラブ、明快で美しい。

1階は共用部分で、居住部は2階から上4層だ。廊下に見える寮室の扉は木製の縦格

子戸である。中を覗くと中も土間だ。自転車が置いてある。靴もある。通り土間と呼んでいる外部の土間である。これがエントランス兼テラスだった。ここからガラスのサッシを開けて寮室に入る。あまり見たことのない豊かな個室空間。ミニマルなデザインであるが、なぜか居心地がいい。寮室のタイプは3種。1室は28~30㎡の広さで室内の空間はその7割。残りは屋外の縁側である。それがくつろぎの空間になる。

敷地の正面や真横にはマンションがあるの

だが、構造体の木壁はその方向を塞いでおり、視線は45度方向に抜ける。その開口に鉄の縦格子を置いてプライバシーを守った。ユニークな平面構成である。

構造体の木壁は芯にCLTの板を置いた独特の、耐火の木構造体である。床は320mm厚のRC。単純明快な構造だ。

画一的になりがちな施設がここまで独創的な建築に仕上がっていることに驚かされた。

(可児才介)



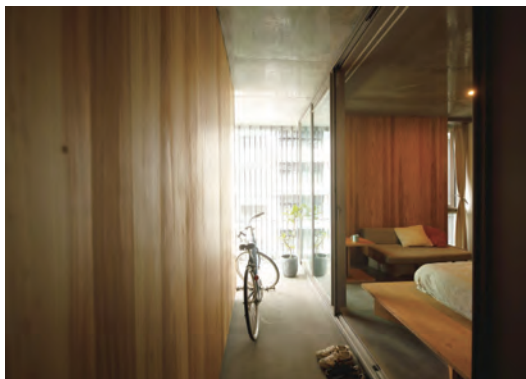
2



3



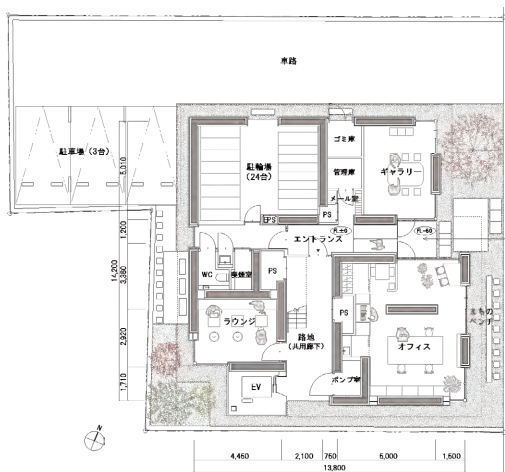
4



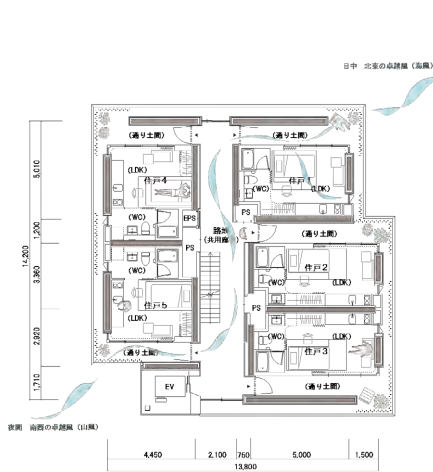
5



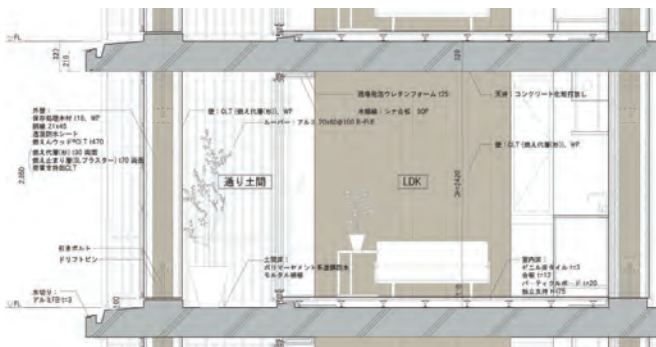
6



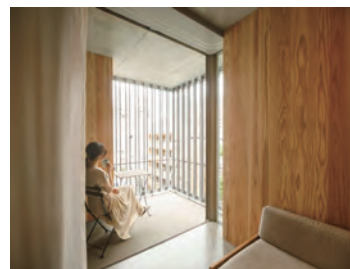
1階平面図



2~5階平面図



住戸1 矩計図



7



8

- 1 室内より土間をみる
- 2 外観。CLT壁とRCフラットスラブを積層させた5階建て。外装には透湿防水シートと保存処理木材を設置し、木造耐力壁の耐久性と切り分けた外装計画としている
- 3 通り土間と連続し、風が通り抜ける半屋外の共用廊下
- 4 風を通す住戸玄関
- 5 通り土間。通り土間は室内へのアプローチを兼ね、日常のシーンに応じて縁側や前庭やリビングの延長として暮らしを豊かにする
- 6 住戸室内より外をみる。引き戸を開け放せば、住まいはまちと緩やかにつながり、開放的な半屋外空間となる
- 7 室内から外をみる
- 8 1階ギャラリー。木造木質技術や森林を守る取り組みを地域に発信する

写真…yousuke harigane